

令和元年度

菰野町教育委員会

事務事業点検及び評価報告書

令和2年8月

菰野町教育委員会

目 次

I	令和元年度点検及び評価実施方針	3
	1 趣旨 2 点検及び評価の対象 3 点検及び評価の方法	
II	教育委員会の運営状況	4
	1 教育委員会	4
	2 令和元年度菟野町教育方針	6
	3 事務局体制	6
III	事務事業の執行状況	8
	1 学校教育	8
	(1)豊かな人間性を育む教育の推進	8
	①人権教育の推進 ②道徳教育の推進	
	③いじめや暴力を許さない子どもたちの育成 ④安心できる集団づくり	
	⑤読書活動の推進 ⑥郷土教育の推進	
	(2)確かな学力と社会参画力を育む教育の推進	10
	①学力の育成 ②特別支援教育の推進 ③幼児教育の充実	
	④国際理解教育の推進 ⑤情報教育の推進 ⑥キャリア教育の推進	
	(3)健やかな体を育む教育の推進	12
	①健康教育の充実 ②体力、運動能力の向上 ③食育推進事業	
	(4)信頼される学校づくり	12
	①開かれた学校づくりの推進 ②教職員の資質向上	
	③子どもたちと向き合う時間の確保 ④安全教育の推進と学校施設、設備の充実	
	2 社会教育	16
	(5)地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実	16
	①家庭の教育力の向上 ②地域における青少年活動の推進	
	③現代社会を生き抜く青少年の健全育成 ○青少年活動支援推進事業	
	(6)活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進	17
	①生涯学習推進体制の確立	
	○生涯学習推進事業 ・よもやま歴史教室 ・かもしかライフカレッジ	
	○教育委員会主催人権教育事業 ○教育委員会主催文化事業	
	○教育委員会支援文化事業 ○国際交流事業	
	②公民館機能の充実 ○公民館教室及び講座	
	③図書館サービスの充実	21
	ア)図書館事業 イ)催事室利用状況 ウ)ギャラリー利用状況	
	エ)令和元年度図書館貸出等の状況 オ)研修等の受け入れ実績	
	(7)健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進	27
	①スポーツ活動の機会と教室、大会などの充実	
	②スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援	
	③スポーツ施設の整備、充実	
	(8)豊かな文化の継承と創造	28
	①芸術文化活動への支援と交流の促進	
	②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用 ③郷土愛の育成	
IV	評価委員会の意見	

資料編

I 令和元年度点検及び評価実施方針

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、菰野町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」）を実施する。

2 点検及び評価の対象

令和元年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況のうち、平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までに実施したものとする。

3 点検及び評価の方法

(1) 自己点検評価

第 5 次菰野町総合計画を踏まえた菰野町教育大綱、菰野町教育振興基本計画及び令和元年度菰野町教育方針に基づき、令和元年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検及び評価を行う。

(2) 学識経験者等の知見の活用

菰野町の教育に関して知見を有する次に掲げる者から、教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、本書に記載する。

(知見者)

氏 名	職業（前職含む）
小 林 浩 司	建設会社社長
水 谷 裕 康	元小学校長

(3) 議会への報告

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに町ホームページへの掲載等により公表する。

II 教育委員会の運営状況

1 教育委員会

教育委員会では、教育長と4名の教育委員により委員会を開催し、規則等の制定や生徒指導事案など重要な案件を審議した。また、各種研修会に参加し、委員の資質向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、学校運営の状況などについて現地で説明を受け、指導及び助言を行った。更に平成27年度から開催されている総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議を行った。

(1) 委員構成

役職名	氏名	住所	任期
教育長	北口 幸弘	菰野	平成31年4月1日就任 令和4年9月30日まで
教育長職務代理者	近藤 保則	池底	平成28年10月1日就任 令和5年9月30日まで
委員	岡島 由香里	田光	平成21年10月1日就任 令和3年9月30日まで
委員	小崎 玉千香	永井	平成24年10月1日就任 令和2年9月30日まで
委員	石倉 雅孔	大羽根園	平成30年10月1日就任 令和4年9月30日まで

(2) 教育委員会の開催状況

開催数： 定例会 11回、 臨時会 4回

(3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修内容
8月30日	松阪市	松阪市嬉野生涯学習センター	研修テーマ「安心・安全」、「教育委員会の活性化と委員としての役割」
10月24日	松阪市	クラギ文化ホール	研修テーマ「三重の教育談義 これからの時代に求められる人材の育成」

(4) 学校訪問

- ・(前期) 5月29日 朝上小、鶯川原小、菰野中
- ・(後期) 11月18日 千種小、八風中、竹永小 11月22日 菰野小

(5) 総合教育会議

- ① (第1回) 5月29日
○次期「菰野町教育大綱」「菰野町教育振興基本計画」の策定に向けて
・見直しのポイント等
- ② (第2回) 11月22日
○次期「菰野町教育大綱」「菰野町教育振興基本計画」の策定に向けて
・原案の検討等

(6) 委員会の主な審議内容

- ① 第1回臨時教育委員会 (H31. 4. 1)
 - 菰野町教育委員会の議席決定について
- ② 第4回教育委員会 (H31. 4. 25)
 - 平成31年度菰野町奨学金貸付について
 - 平成31年度学校評議員委嘱について
 - 菰野町郷土資料館(仮称)整備事業検討委員会設置要綱について
- ③ 第5回教育委員会 (R1. 5. 17)
 - 菰野町運動施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
 - 第1回総合教育会議について
- ④ 第2回臨時教育委員会 (R1. 5. 29)
 - 菰野町就学指導委員会委員・調査員の委嘱について
 - 教育委員学校訪問について
- ⑤ 第6回教育委員会 (R1. 6. 28)
 - 菰野町教育委員会における監視カメラの管理及び運用に関する要綱の一部を改正する要綱について
- ⑥ 第7回教育委員会 (R1. 7. 19)
 - 令和2年度使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書の選定にかかる採択協議会結果について
- ⑦ 第8回教育委員会 (R1. 9. 25)
 - 令和元年菰野町議会第3回定例会の報告について
- ⑧ 第9回教育委員会 (R1. 10. 1)
 - 役員改選等について
 - ・菰野町教育委員会教育長の職務を代理すべきものの指名について
 - ・菰野町教育委員会の議席決定について
- ⑨ 第10回教育委員会 (R1. 11. 18)
 - 菰野町就学援助費交付要綱の一部を改正する告示について
 - 菰野町高等学校等入学準備資金補助金交付要綱の制定について
 - 菰野町特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する告示について
 - 一時預かり(幼稚園型)事業実施要綱の一部を改正する告示について
- ⑩ 第11回教育委員会 (R1. 12. 20)
 - 令和元年菰野町議会第4回定例会の報告について
 - 令和元年度末人事における基本方針について
- ⑪ 第1回教育委員会 (R2. 1. 10)
 - 小学校、中学校卒業式告辞について
- ⑫ 第2回教育委員会 (R2. 2. 27)
 - 菰野町通学用自転車購入助成事業実施要綱の制定について
 - 菰野町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
 - 菰野町教育振興基本計画について
 - 令和元年度末職員人事異動について
 - ・校長及び教頭等異動内申について
 - ・教諭等異動内申について
 - 菰野町人権基本方針について
 - 令和2年度「菰野町ふれあい教室」運営要項について

- 令和2年度いじめ不登校対策事業について
- 菰野町特別支援教育巡回コーディネーター配置要項について
- ⑬ 第1回臨時教育委員会 (R2. 2. 28)
 - 新型コロナウイルスの感染拡大に係る対応について
- ⑭ 第2回臨時教育委員会 (R2. 3. 24)
 - 菰野町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則について
 - 菰野町教育委員会事務決裁規程の制定について
 - 菰野町立小学校及び中学校における教育職員の在校等時間の上限等に関する規則の制定について
 - 菰野町立学校教育職員の在校等時間の上限等に関する方針について
- ⑮ 第3回教育委員会 (R2. 3. 27)
 - 菰野町公民館条例の一部を改正する条例の報告について
 - 令和2年菰野町議会第1回定例会の報告について
 - *委員会審議において、上記の議案、事項以外にも学校教育所管事項及び社会教育所管事項等について審議を行っている。

2 令和元年度菰野町教育方針

(1) 学校教育

「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」

・小中学校【資料2】

教育課題を的確にとらえ、子どもを主体にした創意ある教育課程の編成に努め、家庭、地域社会との確かな連携のもと魅力ある教育活動の推進を図る。

・幼稚園

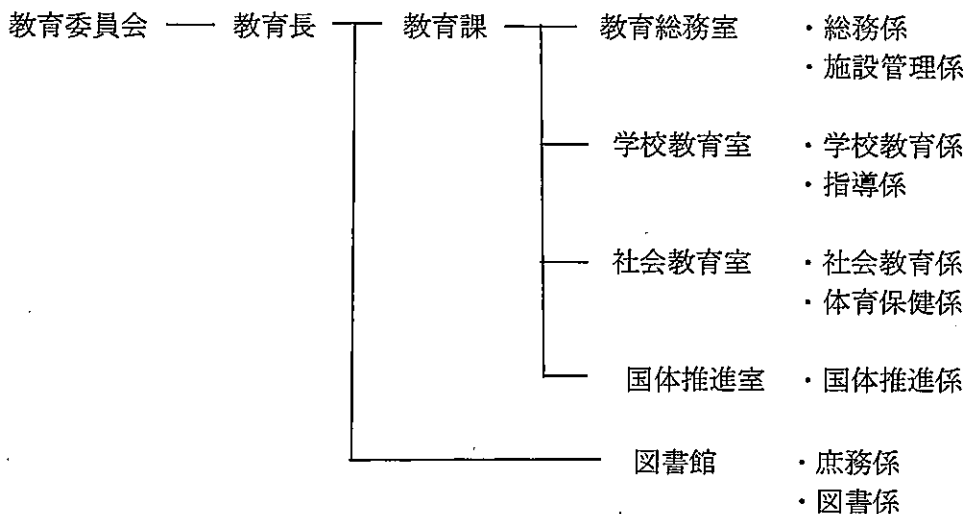
自発的な活動と遊びを通して、総合的な指導により人間形成の基礎を培う。遊びを中心とした生活を通して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度が身につくようにする。

(2) 社会教育

「生涯学習の理念に基づいて幼児期から高齢者に至るすべての住民に少しでも多くの学習の場と機会を確保しながら健康で心豊かな人づくり、地域に根ざした町づくりの実現に努める。」

3 事務局体制

(1) 事務局組織【資料1・9】



(2) 職員数の状況(常勤職員)

H31.4現在

課名	課長	室長	室長補佐	係長	係	嘱託	臨時	その他 (国際交流員)	合計
教育総務室、学校教育室	1	2	1	1	2	-	4	2	13名
社会教育室		1	1	1	3	-	1	-	7名
国体推進室		1		1	1				3名
図書館	1			1	1	6	3		12名
合計	2	4	2	4	7	6	8	2	35名

(3) 外部職員数【資料4】

(4) 教育予算の推移(決算) *学校教育には教育総務費、奨学金、幼稚園費を含む (単位:千円)

区分	H27	H28	H29	H30	R1
学校教育	1,165,531	1,338,454	1,035,445	969,522	1,352,084
社会教育	243,553	375,518	270,118	634,063	234,730
図書館	72,653	74,968	77,731	81,504	76,112
合計	1,481,737	1,788,940	1,383,294	1,685,089	1,662,926
町一般会計	11,150,773	13,117,623	12,677,413	12,487,879	12,517,061
教育費割合%	13.3%	13.6%	10.9%	13.5%	13.3%

Ⅲ 事務事業の執行状況

1 学校教育

(1) 豊かな人間性を育む教育の推進

① 人権教育の推進

各学校が策定した「人権教育推進計画」に基づき、子どもたちの人権尊重の意識と実践力を養うため、教科等指導や生徒指導、学校経営などの教育活動全体を通して、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」をめざし、町内すべての小中学校で、子どもたちの発達段階に応じた「人権教育カリキュラム」を作成し取組を進めた。

また、人権意識を培うための学校教育のあり方について、三重県教育委員会人権教育課と連携し、幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導法等の改善及び充実に努めた。令和元年度の三重郡人権・同和教育研究協議会研究推進校である千種小学校において研究発表会が開催され、三重郡内だけでなく、三重郡内の学校から多数参加をいただき、先生方とともに研修を深めた。

② 道徳教育の推進

昨年度より、小学校では教科としての「特別の教科 道徳」が完全実施され、中学校では今年度より完全実施されることを受けて、町内小中学校すべての教職員が「特別の教科 道徳」の特質をふまえた授業づくり及び評価を行うことができるよう、三重県教育委員会指導主事を招聘し、各学校において研修会を実施した。

各学校では、それぞれの学校の実態に即した道徳教育の全体計画を作成し、各教科や総合的な学習の時間および特別活動等のそれぞれの教科の特質に応じて子どもたちの発達の段階を考慮し、生命を大切に作る心や善悪を判断する力を育て、子どもたちの道徳性が養われる教育活動を推進した。

③ いじめや暴力を許さない子どもたちの育成

いじめは「どの子にも、どの学校でも起こり得る」ことであることを周知徹底し、学校教育に携わるすべての関係者がいじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応するよう、学期に1回以上のアンケート調査や個別面談等により、いじめの早期発見、早期対応に努めた。いじめ問題の根本的な解消に向けて子どもたちの人権感覚を高め、思いやりの心や個性を認め合う力を育成し、さらには違いを多様性として理解する力を培い、「いじめを許さない心」を育むとともに「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」ことが自然で当然な価値観とされるよう取組を進めた。また、情報モラル教育やリスク管理を推進するとともに、教職員や保護者等の情報技術に対する対応力の向上を図り、いじめを含むネットトラブルの未然防止や早期発見、早期対応にも努めた。

菰野ふれあい教室を町単独事業として「三重県民の森ふれあいの館」で週3回、指導員2名体制で実施した。令和元年度は小学生3名と中学生7名が入級した。個別指導を中心に基礎学力定着のための学習支援に努めるとともに、教育相談セラピストも年16回派遣し、不登校児童生徒（保護者を含む）の相談に応えてきた。

入級後、継続して休まず通級できた児童生徒もいたが、あまり来室できなかった者もいた。その後小学生3名については、2名が年度の途中で学校へ復帰し、1名が次年度より学校へ復帰となった。中学生7名のうち3年生の2名は、ともに高校へ進学し、

1. 2年生5名のうち1名が次年度より学校へ復帰し、4名が次年度も通級となっている。

教育委員会事務局に非常勤の教育相談員を配置し、教育相談にあたってきた。令和元年度は、面談50件（来所46件・巡回4件/昨年度計43件）、電話による相談7件（昨年度10件）となっている。相談内容の主なものとしては、不登校の問題や学校生活への適応を含めた学業・進路について等であった。なかでも相談内容として一番多かったのは、個別の指導及び支援が必要な児童生徒についての相談で、カウンセラーや子ども家庭課と連携して発達検査も実施しながら支援の方向を考えたものは25件あった。

不登校児童生徒数は、小学校で18名（前年度17名）、中学校で46名（前年度43名）と、小学校で1件、中学校で3件増加となった。不登校の原因は種々様々である。教育相談員や菰野ふれあい教室指導員が学校の不登校対策委員会に出席するなど学校と連携し、また各学校においては関係機関等と情報の共有を図りながら指導及び支援にあたってきた。

（町不登校児童生徒数）

人、（ ）内は%、H30は暫定値

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
小学校	17(0.72)	12(0.51)	20(0.84)	16(0.68)	17(0.71)	18(0.76)
(全国平均)	(0.39)	(0.42)	(0.47)	(0.54)	(0.70)	
中学校	44(3.35)	43(3.36)	37(3.10)	47(4.09)	43(3.78)	46(4.05)
(全国平均)	(2.76)	(2.83)	(3.03)	(3.25)	(3.65)	

④ 安心できる集団づくり

学校においてはすべての子どもたちにとって居心地の良い学校となるように、子どもたちに対する観察と教育相談に加えて、子どもたちの内面を知ることのできる「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査（Q-U調査）」を実施するなど、さまざまな観点から子どもたちの実態を把握し、日常の学級指導や特別活動などにおいても集団づくりの取組を進めた。

児童生徒の悩みを積極的に受け止めることができるようにするため、今年度もスクールカウンセラーや生徒指導推進協力員、スクール相談ネットワークを町単独で配置し、生徒指導体制の確立に努めた。学校内の巡回や問題行動等の予兆の早期発見、未然防止、保護者への支援等の取組を進めてきた。各校の状況をスクール相談ネットワークと情報共有し、子ども家庭課や児童相談所、四日市西警察署、三重県教育委員会のスクールソーシャルワーカーや生徒指導特別指導員等の関係機関と連携して、適切な指導に努めた。

⑤ 読書活動の推進

読書活動を通して、子どもたちの感性を磨き、表現力や想像力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身につけさせる等、豊かな心の育成に取り組んできた。また、読書活動は主体的な学びや読解力、言語力、創造力を育む重要な学習活動である。学校においては、一斉読書や読み聞かせ、家庭読書の啓発に努めた。

また、平成28年度より町内すべての小中学校へ菰野町図書館司書が月2回の巡回訪問を行い、菰野町図書館と学校が連携し、学校図書ボランティアの協力も得ながら、学校図書館の環境整備に努めた。各校に導入してきた図書システムも軌道に乗り、選書、購入、除籍なども効率よくできている。

(学校図書館の整備状況)

R2.3

	実学級数	図書標準数	R元年度末蔵書数	達成率
菰野小学校	38学級	13,720冊	16,745冊	1.220
千種小学校	15学級	9,160冊	9,771冊	1.067
朝上小学校	19学級	10,560冊	13,608冊	1.289
鶉川原小学校	15学級	9,160冊	9,979冊	1.089
竹永小学校	14学級	8,760冊	11,727冊	1.339
菰野中学校	24学級	15,520冊	17,334冊	1.117
八風中学校	14学級	11,680冊	16,088冊	1.377

⑥ 郷土教育の推進

自分たちが育ってきた地域を大切に守っていこうとする心や地域に貢献しようとする態度を養うなど、郷土について考える機会を充実させていくため、学校と地域が連携し、地域の教育資源を活用したり「わたしたちのまち菰野町」(小学校社会科副読本)を活用したりして、「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を推進した。これらの学習活動には、各校の学校運営協議会(菰野町コミュニティ・スクール)の取組とも関連づけながら、郷土教育を実施することができた。

(2) 確かな学力と社会参画力を育む教育の推進

① 学力の育成

きめ細かな個に応じた学習指導の充実を図るため、非常勤講師を町単独で各学校に配置し、小学校3年生～6年生の算数科と、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で少人数指導を継続的に行っている。

小学校6年生と中学校3年生を対象に4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」、小学校4年生と5年生、中学校1年生と2年生を対象に実施した「みえスタディ・チェック」については、学校で採点を行い、成果と課題を整理し、早期からの授業改善に取り組んだ。また、学力調査と同時に行われた学習状況調査により家庭での学習の仕方にも課題がみえてきたことから「家庭学習の手引き」を作成し、平成26年度より町内の全児童生徒と保護者に配付している。各学校においては、保護者に対し、家庭学習の重要性と学ぶ習慣が身につくための児童生徒への指導を求めた。

また、三重県教育委員会による「みえスタディ・チェック」の取組が、平成28年度から小学校5年生と中学校2年生については年間2回実施することに伴い、三重郡内の小中学校で継続的に実施している標準学力検査(CRT検査)の実施学年を、小学校5年生、中学校2年生から小学校4年生、中学校1年生に変更した。小学校4年生では国語科と算数科で、中学校1年生では国語科、社会科、数学科、理科、英語科の5教科で実施した。検査結果を三重郡教育振興会学校教育部会で分析し、児童生徒の学力の定着状況を把握して各校の指導方法の工夫及び改善に繋げた。

教職員の資質向上については、新学習指導要領に基づいた指導ができるよう、三重県教育委員会北勢教育支援事務所の支援を受けて、新しい学力観等に関する研修を行った。また、平成29年度より竹永小学校、朝上小学校において県の「わかる授業確かな実践事業」を受け、三重県教育委員会と連携しながら教職員の授業力向上に努めた。

② 特別支援教育の推進

特別な支援が必要な児童生徒について、各校で校内特別支援委員会を組織し、校内

のコーディネーターが中心となり児童生徒への支援のあり方について組織的に検討した。その際、町内に2名配置している菰野町特別支援教育巡回コーディネーターを派遣し、助言する体制も整えた。対象児童生徒については、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成したうえで適切な指導及び支援を行った。また、特別支援教育支援員13名を各学校の状況に応じて配置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援にあたってきた。さらに、子ども家庭課とも連携し、個別の指導及び支援が必要と思われる児童生徒について、みえ発達障がい支援システムアドバイザーに助言を求めたり、アドバイザーが対象となる児童生徒へ直接対応したりすることで、学校での指導及び支援に活かしてきた。

特別支援学級在籍児童生徒への指導及び支援については、校内研修会等で全教職員が授業を参観し情報を共有したり、菰野町巡回コーディネーターが訪問し、指導及び支援のあり方について助言したりしてきた。また、37名の介助員を学校の状況に応じて配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援にあたってきた。

菰野町就学指導委員会では、対象となる園児、児童及び生徒の観察や聞き取りを行い、あわせて保護者の就学相談も行うことで、子どもや保護者のニーズに合ったよりよい就学指導を目指している。

③ 幼児教育の充実

就学前教育と保育の両方を提供する幼保一体施設の運営を継続して行い、町内全ての小学校区で保護者のニーズに寄り添った就学前教育及び保育、幼児教育の充実に努めた。幼保一体化幼稚園の全てにおいて3歳児保育を実施している。

各中学校区の校長会議や子ども支援ネットワーク会議の中で、保幼小中の連携を目的とした研修会をもち、学校や園の状況、教育課題、指導方法等についての共通理解を深めることができた。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、保幼小の相互の活動を、園児と児童が体験したり職員が参観したりすることで、交流を行ってきた。さらにキャリア教育の一環として、職業体験学習を通して園児と中学生の交流も進めてきた。今後も学びの連続性を考慮した保幼小中の連携を深めていく。

④ 国際理解教育の推進

外国語指導助手2名（JET青年）を小学校及び中学校に派遣し、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実に努めた。またALT担当者会議及び菰野町教職員研修会教育課程部会を定期的で開催し、小中学校での連続した学びの実現のための取組についても情報交換を行っている。令和2年度の小学校英語科導入に向け、平成27年度より、菰野町教職員研修会教育課程部会を中心に準備、協議、研修を進めている。

⑤ 情報教育の推進

子どもたちが主体的に情報を収集して選択し、自分の考えをわかりやすくまとめて表現することや、デジタル教材等を活用した効果的な学習を進めることができるよう、ICTの活用を推進した。情報機器の基本的な操作や仕組みを理解し情報技術を適切に選択し利用していきける力や、おびたしい情報の中から必要な情報を選択し活用する力を身につけることができるよう、また子どもたちが適切な判断力と責任を持って情報を扱い、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度が育つよう、情報教育の充実を図った。

⑥ キャリア教育の推進

各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して、かつ他の教育活動とのバランスに配慮しながら、汎用性のある学力、コミュニケーション能力、忍耐力、規範意識、マナー、働く者の権利や義務についての理解、男女共同参画を重んずる態度等、社会的、職業的自立に必要な能力の育成を図った。特に中学校においては、子どもたちが望ましい勤労観や職業観を持ち、主体的に進路を選択する能力を身につけていくことをめざし、職場体験学習を実施した。

(3) 健やかな体を育む教育の推進

① 健康教育の充実

子どもたちが自分自身を価値ある存在と認めて自分を大切に思う自尊感情を育むなど、教育活動全体を通して命の教育に取り組んだ。また、性に関する教育やがん教育、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育等、子どもたちの健康課題については、子どもたちの発達の段階に応じて、体育や保健体育の教科を中心に養護教諭や栄養教諭などとも連携し、学校の教育活動全体を通じた健康教育を実施した。養護教諭により保健だより等を発行し、児童生徒だけでなく、保護者に対しても健康教育の啓発を行った。

② 体力、運動能力の向上

学校体育では、体育や保健体育の授業及び運動部活動、スポーツ行事など、学校教育活動全般を通して、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ、喜びを体験し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うものとして充実を図ってきた。

児童生徒一人ひとりがそれぞれの能力と適性に応じて、運動の課題を自ら解決することによって運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の技能を高めることができるように授業づくりを進めた。

また、「三重県児童生徒の体力・運動能力調査」については、調査対象の児童生徒だけでなく、全学年の児童生徒に対し体力測定を実施して、早期からの子どもたちの体力向上に向けた取組を行っている。

平成28年度より千種小学校において県教育委員会の小学校体育体力向上推進事業を受け研究を進めている。体育科の授業において、きめ細かな指導をすることにより、児童の体力向上につなげた。

③ 食育推進事業

望ましい食習慣の形成、食に関する正しい知識の習得、さらにはその知識に基づいて食品の品質および安全性について自ら判断できる能力の育成を図った。また、栄養教諭などを中心に、校内で「食に関する指導」の計画を立て、学校教育全体を通して望ましい栄養や食事の摂り方、食に関する正しい知識等、指導内容の充実を図った。

本年度も菰野小学校、朝上小学校に栄養教諭を配置し、所属校が属する中学校区のすべての小中学校も担当し、小学校1年生から中学校3年生までのそれぞれの発達段階に応じた食育指導を、担任や養護教諭と連携して実施した。

また、小学校では給食だよりを定期的に発行し、児童だけでなく保護者に対しても食育の啓発等に取り組んだ。町としては、関係課等の担当職員による食育ネットワーク会議を年2回開催し、食育の推進に努めている。

(4) 信頼される学校づくり

① 開かれた学校づくりの推進

菰野町においては、平成29年度より町内すべての小中学校でコミュニティ・スクールをスタートさせた。

菰野町学校教育指導方針の一つである「地域とともにある学校づくり」を基本として、各学校で地域性や子どもたちの状況に応じた特色ある学校経営がなされるよう、各校の学校経営方針を学校づくりビジョンに位置づけている。学校づくりビジョンは、学校だよりや各校のホームページ等を活用して公開している。また、児童生徒や保護者、教職員を対象とした学校評価についても同様に情報公開を行っている。

学校マネジメントシステム（学校自己評価・学校関係者評価）やコミュニティ・スクール、学校評議員制度等を活用することで、保護者や地域住民が学校運営に参画する機会を増やしている。さらに学校公開週間を通して日頃の教育活動を広く公開するとともに、地域の人材を活用した外部講師（ゲストティーチャー）を教育活動の中に取り入れる、また中学生が地域のふれあいまつり等にボランティアとして参加するなど、地域と学校の双方向の連携を図り、地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」に努めた。各学校においては、これまでの地域と連携した取組が組織的に活動できるようになり、これらの取組を通して地域の方々や児童生徒にとってよい刺激となるなど、学校品質の向上につなげることができた。

また、子どもたちの登下校の安全確保のために、学校とPTA等が協力して通学路点検を行った。さらには、教育委員会や関係行政機関、警察と連携して登校時の見守り等を実施した。

② 教職員の資質向上

日常的にOJTによる人材育成を行い、授業の進め方や生徒指導のあり方等の具体的な課題について同僚との議論を通して互いの力を磨こうとする「育てる文化」をつくりながら教職員としての資質の向上を図った。また、教職員同士の対話を重視し、互いに認め合える職場づくりをめざすとともに、学校の課題を共有し解決していくために、組織として対応する教職員集団を育成し、学校組織の活性化を図った。若い教員が増加する中で、教職員の育成については、学力向上アドバイザーを町単独で各校の要請に応じて派遣し、授業力の向上等の支援を進めている。

③ 子どもたちと向き合う時間の確保

教員による日常的な児童生徒との関わりに加え、教育相談等を定期的の実施し、児童生徒の思いの把握や信頼関係の構築に努めた。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や図書館司書の訪問時間や回数を増やすなどの専門職種の学校への導入を積極的に推し進め、子どもたちと向き合う時間が生み出せるよう、サポートしてきた。また、より専門的なスタッフの知識やスキルを活かし、教育の質を一層高めることができた。

④ 安全教育の推進と学校施設、設備の充実

子どもたちがさまざまな事件や事故及び災害等から自らの命を守るために、あらゆる教育活動の中に安全教育（生活安全〈防犯を含む〉教育、交通安全教育、防災教育）を位置づけ、関係機関や団体等と連携しながら、子どもたち自らが危険を予測したり回避する力の育成に努めた。

施設整備事業の主なものとして、小学校校舎大規模改造事業では、菰野小学校の校舎大規模改造工事、中学校校舎大規模改造事業では、菰野中学校及び八風中学校の校舎大規模改造工事を実施し、屋上の防水、外壁及び内壁の補修、照明器具のLED化便所の洋式化など、幅広く改修を行った。

(施設整備事業の概要)

工事名	請負業者	請負金額	工期	工事概要
菰野小学校 C館大規模 改造工事 (建築工事)	(株) 内田工業所	54,600,480 円	6月26日 ～ 9月13日	校舎大規模 改造工事
菰野小学校 C館大規模 改造工事 (電気設備工事)	(有) 三重電設	4,730,400 円	6月21日 ～ 9月13日	校舎大規模 改造工事
菰野小学校 C館大規模 改造工事 (機械設備工事)	音羽電気 (株)	6,804,000 円	6月21日 ～ 9月13日	校舎大規模 改造工事
菰野中学校 特別教室棟大規模 改造工事 (建築工事)	(株) 八武組	266,917,840 円	6月26日 ～ 11月22日	校舎大規模 改造工事
菰野中学校 特別教室棟大規模 改造工事 (電気設備工事)	三重電設 (株)	32,753,880 円	6月21日 ～ 11月22日	校舎大規模 改造工事
菰野中学校 特別教室棟大規模 改造工事 (機械設備工事)	(有) 内田設備	44,500,700 円	6月21日 ～ 11月22日	校舎大規模 改造工事
八風中学校 普通教室棟大規模 改造工事 (建築工事)	(株) 大藤工務店	163,253,880 円	6月26日 ～ 9月30日	校舎大規模 改造工事
八風中学校 普通教室棟大規模 改造工事 (電気設備工事)	(有) 三重電設	14,677,200 円	6月21日 ～ 9月30日	校舎大規模 改造工事

八風中学校 普通教室棟大規模 改造工事 (機械設備工事)	(有) マスダ重工	21,495,240 円	6月21日 ～ 9月30日	校舎大規模 改造工事
---------------------------------------	-----------	--------------	---------------------	---------------

【主な修繕内容】

- 菰野小学校 : 小会議室改修工事、机椅子保管室改修工事、中校舎及び北校舎雨漏り修繕工事、図書室ガラス窓修繕工事、遊具修繕工事、体育館渡り廊下塗裝修繕工事、C館渡り廊下塗裝修繕工事、物置設置工事
- 千種小学校 : 北校舎1年1組空調室外機基盤取替工事、遊具修繕、消防用設備修繕、ガス回転釜修繕、正門伸縮門扉取替工事、給食室等照明器具取替工事
- 朝上小学校 : 浄化槽消毒槽用縞鋼板蓋枠取替工事、中校舎昇降口照明器具増設工事、非常用放送設備蓄電池取替工事、バスケットゴール補修工事、給食室照明取替工事
- 鶴川原小学校 : プログラムタイマー親時計更新工事、プールろ過機50ミクロンカートリッジ取替工事、遊具修繕
- 竹永小学校 : 駐車場灯取替工事、LPガス設備修繕工事、運動場砂飛散防止ネット取替、ネットワーク設備修繕工事、校長室LED更新工事
- 菰野中学校 : 中館3階第二音楽室引違戸取替工事、グラウンド防球ネット張替工事、校長室空調機更新工事、プールろ過機50ミクロンカートリッジ取替工事、駐輪場防護柵改修工事、南校舎2階ベランダ3年1組防水修繕工事、南校舎2階ベランダ少人数教室防水修繕工事、
- 八風中学校 : 浄化槽水中ブローワー及び縞鋼板蓋枠取替工事、プールろ過機50ミクロンカートリッジ取替工事、新館廊下等照明器具取替工事、

【評価と今後の方向】

令和元年度においても、第5次菰野町総合計画の方向性を踏まえて策定された教育大綱、菰野町教育振興基本計画に基づき教育活動を行った。この基本計画では、学校教育においては、菰野町の基本目標である「元気で心豊かな人が育つまち」をまちの将来像とし、「豊かな人間性」「確かな学力と社会参画力」「健やかな体」を基盤とした、『新しい時代をたくましく生きる子どもの育成』を目指すものとなっている。個別の主な事業についての評価と今後の方向については、以下のとおりである。

町内の不登校児童生徒数については、令和元年度は小学校で1件、中学校で3件の増加となり、依然として不登校率が高い状況が続いている。学校の支援室や放課後登校、菰野ふれあい教室での学習を通して、自己肯定感や自尊心の育成を図り、徐々に自己実現に向けての成果を上げている子どももいるが、不登校・不登校傾向が長期化してしまっている児童生徒もおり、不登校への対応も重要であるが、未然防止の取り

組みの充実が必要である。子どもたち一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の提供が求められるなか、引き続き不安や悩みを受け止められる体制作り（教育相談の充実、「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査（Q-U調査）」等の取組、カウンセラー等の配置、教職員のカウンセリングマインド研修等）の充実を進める。

読書活動の推進については、一斉読書の取組、図書標準数達成に向けての書架整備、「みえの学力向上県民運動」の一つである「家読（うちどく）」など読書活動の充実に取り組んできている。今後も、家庭、図書館司書や図書ボランティアの方々と積極的に連携し、学校図書館の環境整備や家庭読書を推進していきたい。

学力の定着に向けて、町単独で各学校に少人数指導非常勤講師を配置し、少人数授業を小学校3～6年生の算数科で、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で実施し、児童生徒一人ひとりにきめ細かな個に応じた指導をしてきている。今後も引き続き小学校の算数科と中学校の数学科及び英語科に重点をおいた少人数授業の推進を図り、基礎学力の定着ときめ細かな指導を目指していく。

また、「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」「CRT評準学力検査」を通して、各学校で学力調査の結果を分析し、課題を明らかにして、授業改善に取り組んできた。また、学年末には取組の検証も行った。今後もこれらの調査を活用し、「全国学力・学習状況調査」や「みえスタディ・チェック」については、学校独自で採点に取り組み早期からの授業改善につなげられるようにしたい。また、調査結果については経年推移からも分析し有効に活用する。

特別支援教育については校内特別支援委員会の中で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を推進するために、個別の教育支援計画や指導計画を作成して、保護者や関係機関との連携を図り、児童生徒の指導及び支援にあたってきた。就学前、小学校、中学校と途切れのない支援体制を整えるため、子ども家庭課との連携を強めるとともに、町内2名の特別支援教育巡回コーディネーターを各学校からの要請に応じて派遣し、就学相談等の充実を図ってきた。今後も、途切れのない支援体制の整備、関係機関との連携を充実させる。また、障害者差別解消法を受け、今後も学校現場における合理的配慮の提供についても各校と協議しながら取組を進めていく。

幼児教育については、令和元年10月より開始された幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者の就労状況が変わり、子育て環境の変化、幼児教育・保育へのニーズの多様化が今後もさらに進む。また、幼稚園教育要領（平成29年改訂）や保育所保育指針（平成30年改定）に対応した幼児教育・保育の実現に向け、子ども家庭課と連携し、幼稚園教諭や保育士への研修の充実を図っていく。また、これまで進めてきたCLM（チェック・リスト・イン三重）や個別の指導計画、パーソナルカルテ等の取組も活用し、保育園、幼稚園、小中学校の連携をさらに深める。

英語教育については、外国語指導助手の活用と併せ、学校サポート推進事業「外国語教育巡回専門教員」を活用し、小学校における外国語・外国語活動の授業力向上を推進する。

体力向上については、今後も、町内すべての小中学校において体力テストを実施し、その傾向と課題を分析しながら、基礎体力の向上に向けて取組を進めていく。

コミュニティ・スクールについては、各校での取組が充実してきている。今後も各校・地域の特色を生かした事業を進めていく。

学校施設、設備の充実については、安全安心な施設環境、学習環境の質的向上を図るため、菰野小学校、菰野中学校及び八風中学校の校舎大規模改造工事を実施するとともに、翌年度に向けて鶴川原小学校給食室改修工事に係る設計監理業務を実施した。今後においても、児童、生徒が快適に学習するための利便性、快適性の向上に向けた対策を継続して進めていく。

2 社会教育

(5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実

①家庭の教育力の向上

家庭教育講座として、菰野町内の幼稚園、保育園における家庭教育講演会、親子将棋教室などを行った。

②地域における青少年活動の推進

青少年健全育成を推進するため、地域における非行防止の環境づくりや補導活動等を支援した。

③現代社会を生き抜く青少年の健全育成

青少年育成町民会議を中心とした環境浄化活動、非行防止パトロール、あいさつ運動等を支援し、補助金を活用することで活動の場を広げ、町ぐるみでの青少年育成活動に取り組んだ。

○青少年活動支援推進事業

事業名	期日	対象	場所	人数
コボンタフェスティバル	6月30日	小中学生	町民センター ホール	140
書初め大会	1月11日	幼保園児 小中学生 一般	体育センター	70
書初め大会作品展示	1月25日	〃	菰野町庁舎 1階ロビー	
新春たこあげ大会	1月13日	親子	朝上小学校 (町民会議事業)	35
育成者指導者研修会 家庭教育 研修会 *新型コロナウイルス感染症の ため中止	2月26日	一般	町民センター ホール	—

(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進

①生涯学習推進体制の確立

よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジ等、生涯学習の振興を図るための講座や、人権講座、講演会、コンサートなどを実施した。また、外国語指導助手により、隔月で国際交流会を開催し、町内における国際交流活動を推進した。

○生涯学習推進事業

よもやま歴史教室 2019

[主催]菰野町教育委員会/よもやま歴史サークル

回	通算	日時	内 容	講 師	人数
1	239	5月18日 14:00～	菰野藩士の江戸参勤とくらし ～龍崎守道日記から～	三重県総合博物館 藤谷 彰	92
2	240	6月15日 14:00～	長篠・設楽原の戦いと人々 ～戦いはいかにして現代に伝 えられたのか～	長篠城址史跡保存館 後藤 悠也	63
3	241	11月30日 14:00～	人道作家・瀬田栄之助の半生 ～幻の作家の実像に迫る～	作家・郷土作家研究家 清水 雅明	24
4	242	9月21日 14:00～	明智光秀と大河ドラマ	歴史工房 歴史研究家 明智 憲三郎	113
5	243	11月16日 14:00～	幕末日本を指導した、津藩儒 斎藤拙堂の人物と業績 ～玄孫が語る拙堂の今日的意義～	斎藤拙堂研究家・文学博士 斎藤 正和	65
6	244	12月21日 14:00～	新しい天皇の在り方 ～皇位継承儀礼から見る～	京都産業大学 准教授 久禮 旦雄	63
7	245	1月18日 14:00～	神社ってどんなところ ～神社(神道)の歴史的推移と 暮らしの関わり～	國學院大學 研究開発 推進機構 日本文化研 究所長 教授 平藤 喜久子	117
8	246	2月15日 14:00～	世界史のなかの戦国大名 ～天下獲りレースでない戦国 時代相～	名古屋学院大学国際文 化学部 教授 鹿毛 敏夫	70
9	247	3月21日 14:00～	日本古代の移民と文化 ～百済・高句麗遺民の動向を中 心に～	愛知県立大学日本文化 学部 丸山 裕美子	中止

かもしかライフカレッジ2019

[主催]菰野町教育委員会/かもしかサークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	6月22日 14:00～	華麗なる専業農家からの転身	CoCo 荖番屋アグリ事業部 アドバイザー 位田 昌紀	28

2	7月20日 14:00～	シルバーエイジのための食生活の すすめ	管理栄養士 櫻井 智美	65
3	8月7日 18:30～	夏のほしぞら観望会	坂下星見の会	39
4	9月28日 14:00～	身近にある薬草（生薬）について ～真菰談義その3～	藤牧循環器内科 薬剤師 藤牧 けい子	30
5	12月15日 13:30～	ウィンターコンサート	三重ユナイテッドウィン ドオーケストラ	455

○教育委員会主催 人権教育事業

事業名	期日	場所	人数
各地区公民館 ・人権コンサート ・人権講演会	5月～2月 (5回) (5回)	各地区公民館 各地区コミュニティセンター 農村センター、けやきホール等	
平和祈念会 2019 ・コンサート ・映画上映	7月28日	町民センター ホール	130
平和祈念展	8月7日～ 8月15日	菰野町図書館ギャラリー	

○教育委員会主催 文化事業

事業名	期日	場所	人数
菰野寄席（第61回）	5月25日	菰野地区 コミュニティセンター和室	78
町民盆踊り講習会	6月22日	菰野地区 コミュニティセンターホール	80
コボンタフェスティバル	6月30日	菰野町町民センターホール	300
朗読とピアノによる『葉っぱのフ レディ』と新美南吉の世界	7月15日	菰野町町民センターホール	220
成人式	1月12日	菰野町町民センターホール 菰野町体育センター	373
子どもたちの笑顔を守るために 本郷由美子講演会	3月14日	菰野町役場庁舎 4階会議室	中止

東京大衆歌謡楽団	3月28日	菰野町町民センターホール	中止
プロの音楽家による 課外授業アウトリーチ	5月～3月	町内各小学校	町内5校

○教育委員会支援文化事業

事業名	期日	場所	人数
第23回菰野町俳句大会	7月13日	菰野町庁舎4階会議室	句
第10回三滝川燈火祭り & 第32回町民盆踊り大会	8月17日	三滝川河川敷周辺	8,000

○国際交流事業（異国文化とふれあう）

事業名	期日	場所	人数
いろいろな国の著名人について	5月9日	菰野町庁舎4階会議室	15
独立記念日について	7月10日	菰野町庁舎4階会議室	16
アメリカの音楽について	9月11日	菰野町庁舎4階会議室	11
ダンス体験	11月14日	菰野町庁舎4階会議室	19
国クイズ（国旗や有名な場所の写真から、国を当てるクイズ）	3月13日	菰野町庁舎4階談話室	18

②公民館機能の充実

生涯学習の推進を図るため、町公民館や地区公民館において各種学級、講座を開催するとともに、公民館を趣味のサークルの場として、町民センターや南部公民館、地区公民館等の施設を町民に開放した。

○公民館教室及び講座

	教室、講座名	期間	日時	学習内容	講師名	会場	人数
1	文学講座	5月 ～ 2月	第4金曜日 13:30～ 15:00	奥の細道を読む ～芭蕉人生は旅 だ～	三重県生涯学習 センター講師 河原徳子	町民センター 会議室	50人
2	ロボット 工作教室	4月 ～ 2月	第2土曜日 9:30～ 11:00 *初回のみ 第4(土)	ロボット製作を通 して、ものづくりに 必要な知識、技術を 身につける	(株)ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	親子 15組

3	ガーデニング講座	5月 ～ 2月	第3木曜日 9:30～ 11:00	お花やハーブのある暮らしをしてみたい方へ	メイガーデンズ ガーデンデザイナー 柵山 直之	町民センター 会議室	21人
4	ソーシャルメディア講座	7月 ～ 2月	第1月曜日 18:30～ 20:00	ソーシャルメディアの活用等初歩的な内容	有限会社 ザワン ノブ横地	菰野町庁舎 4階 会議室等	13人
5	びっくり理科実験教室	4月 ～ 9月	第2・3・4 土曜日の いずれか 13:00～ 14:30	様々な分野の理科実験を行い、“理科博士”を目指す	ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	15人

③図書館サービスの充実

当館は、平成20年4月11日に開館し、現在13年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菰野町に伝わる民話語り等を体感してもらっている。

令和元年度実績について新型コロナウイルス対応による休館による減少はあったが、図書開架室の年間入館者数28万4千人に対し、36万4千冊の図書資料の提供を行うとともに、生涯学習成果発表の場の提供や催事の開催等、滞在交流型図書館としての施設運営に努めてきた。

また、学校図書館への図書館司書巡回支援を継続することで、児童生徒の読書関心を高める取組みを行っている他、小学生限定の『子ども司書』の卒業生を対象に、中学生も図書館に関わってもらうための組織『リトルライブラリアン』を立ち上げた。

ア) 図書館事業

事業名	開催日	時間	場所	備考	参加数
子ども読書週間企画 「子どものための絵本ライブ&おりがみ」	5月5日(祝)	14:00 ～ 15:00	おはなし ルーム	小学校低学年以下対象の読み聞かせや折り紙作成	約20人
ボランティアのための 絵本読み聞かせ講座	5月22日(水)	10:00 ～ 11:30	催事室	絵本の読み聞かせの方法や知識についてのボランティア対象の初心者向け講座	26人
児童書ふるほん市 「本フェス～人から人へ つながる本～」	6月2日(日)	10:00 ～ 16:00	社会福祉 公園	絵本や児童書の販売を通じてコミュニケーションの場にする。売上は寄付する。	多数
リトルライブラリアン	6月9日(日) ～ 計5回	14:00 ～	ボランティ アルーム	子ども司書認定の中学生が読書推進リーダーとして活躍の場を提供	10人

リサイクルフェア	7月15日 (月・祝)	9:30～ 12:00	催事室	雑誌リサイクルフェア	約200人
子ども司書育成講座	8月6日(火)～ 8日(木)	9:30～ 15:00	図書館内	夏休みを利用し、小学6年生の図書館業務体験講座	16人
[後援事業] 民話まつり	8月16日(金)	19:00～ 20:30	催事室	夏の夜 怪談ばなし	約100人
読み聞かせまつり	8月17日(土)	14:00～ 15:30	ギャラリー	絵本、紙芝居やペープサートなどボランティアの日頃の活動の成果を発表	約40人
秋の読書週間 スタンプラリー	10月19日(土) ～ 12月15日(日)		開架室	対象者 図書館利用者 中学生以上:70人 小学生:100人	170人
絵本読み聞かせ講座 「絵本でつなぐ 心とココロ」	10月19日(土)	10:00～ 11:30	催事室	読み聞かせのコツや絵本の選び方についての一般向けの講座	17人
大人のための朗読会 「おはなしの小箱」	11月13日(水)	10:30～ 12:00	交流ラウンジ	朗読アーティストによる大人向け朗読会	40人
ビブリオバトル	12月1日(日)	14:00～ 15:30	催事室	一人5分で、中学生以上の参加者が選んだ本の魅力を語り合う書評合戦	13人
クリスマス 読みあそびライブ	12月22日(土)	10:30～ 11:10	交流ラウンジ	小学校中学年までを対象の読み聞かせを交えたイベント	多数

イ) 催事室利用状況

開催日、期間	行事名	主催者名
4月11日(木)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
5月11日(木)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
5月22日(水)	読み聞かせ講座	菰野町図書館
5月23日(木)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
5月28日(日)	TRCブックキャラバン	菰野町図書館
6月13日(木)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
6月14日(金)～20日(木)	教科書展示	菰野町教育委員会
7月15日(祝)	リサイクルフェア	菰野町図書館

7月18日(木)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
7月20日(土)～8月31日(土)	夏休み臨時学習室(催事使用を除く)	菰野町図書館
8月3日(土)	夏休み自然学習教室	菰野町図書館
8月6日(火)～8日(木)	子ども司書育成事業	菰野町図書館
8月16日(金)	民話まつり	民話がたり合同会
9月8日(日)	リトルライブラリアン	菰野町図書館
9月14日(土)～15日(日)	菰野町手づくり民話絵本コンクール 2019応募作品の絵本展示会	絵本の町づくり文化プロジェクト実行委員会
9月17日(火)～10月1日(火)	私のアイデア貯金箱コンクール 作品展示	郵便局
10月10日(水)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
10月19日(土)	絵本読み聞かせ講座	菰野町図書館
11月8日(金)～10日(日)	寒蘭花展示会	菰野寒蘭保存会他
11月15日(金)～17日(日)	花墨会書道展	花墨会
11月28日(木)	菰野町図書館協議会	菰野町図書館
11月29日(金)	榎村寛之後援会「菰野町に伝わる皿屋敷の話」	民話がたり「こもの菊」
12月1日(日)	子ども司書育成事業ビブリオバトル	菰野町図書館
2月7日(金)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
2月14日(木)	こもりぶサポーター会議	菰野町図書館
2月28日(金)	菰野町図書館協議会	菰野町図書館

ウ) ギャラリー利用状況

開催日、期間	行事名	主催者名
4月2日(火)～11日(木)	折り紙建築作品展	伊藤隆
4月16日(火)～5月5日(金)	R本(学校司書のおすすめ本)展示	菰野町図書館
5月6日(月)～12日(金)	改元記念書道展	谷泉石
5月29日(月)～6月5日(金)	竹細工、木工作品の展示	打田吉一
6月7日(金)～16日(日)	写真展	菰野町芸術文化協会写真部会
7月13日(土)～21日(日)	絵や立体物の展示	蟬平麻記子
7月28日(日)～8月4日(日)	パステルアート	アトリエいろのは
8月6日(火)～16日(金)	平和祈念展(パネル展示)	総務課
8月17日(土)	読み聞かせまつり	菰野町図書館

8月20日(火)～9月3日(火)	菰野ばんこ会展示会	菰野ばんこ会
9月4日(水)～13日(金)	救急ポスターコンクール作品展	菰野町消防本部
9月14日(土)～23日(月)	銅版画工芸展	下田正
9月24日(火)～10月27日(日)	かもしかハーフマラソンポスター・川柳 作品展	菰野町教育委員会
11月1日(金)～13日(水)	社会を明るくする運動ポスターコンクール入選作品展	健康福祉課
11月15日(金)～17日(日)	花墨会書道展	花墨会
11月19日(火)～12月5日(木)	鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン写真作品展	教育委員会
12月6日(金)～12月11日(水)	パステルアート	アトリエいろのは
12月13日(金)～12月22日(日)	子どもの写真展	川嶋写真館
1月5日(日)～10日(金)	菰野町都市マスタープランオープンハウス	都市整備課
1月11日(土)～19日(日)	全国孔版画愛好者による年賀状展	大羽根孔版画同好会
2月17日(月)～2月26日(水)	「男はつらいよ」50周年記念ロケ地写真展示	観光産業課
2月28日(木)～3月10日(火)	写生大会、書道コンクール作品展	菰野町消防本部

エ) 令和元年度図書館貸出等の状況

開館日数	278日	新規登録者	1,523人
貸出人数	117,841人	貸出冊数	363,561冊
購入冊数	7,265冊	受入冊数	9,299冊

登録者数、蔵書冊数及び購入冊数（令和元年3月31日現在、購入冊数は累計）

登録者数	36,139人	購入冊数	99,026冊
蔵書冊数	167,171冊	※蔵書冊数は、図書資料、AV資料、雑誌の総数	

オ) 研修等の受け入れ実績

①職場体験学習

受け入れ期間	学 校 名	人 数
5月15日(水)～17日(金)	四日市市立西陵中学校第2学年生徒	3名
5月28日(火)～30日(木)	八風中学校第2学年生徒	3名
6月5日(水)～7日(金)	四日市市保々中学校第2学年生徒	2名
9月10日(火)～12日(木)	菰野中学校第2学年生徒	4名
9月25日(水)～27日(金)	四日市市桜中学校第2学年生徒	3名
11月12日(火)	三重県立朝明高校第2学年生徒	4名
12月12日(木)	千種小学校6学年	5名

②各種研修

受け入れ日	摘 要	
7月30日(火)、31日(水)	菰野小学校教諭社会体験研修	2名
7月30日(火)、31日(水)	八風中学校教諭社会体験研修	1名
8月6日(火)、7日(水)	竹永小学校教諭社会体験研修	1名
8月6日(火)、7日(水)	鶺川原小学校教諭社会体験研修	1名
8月6日(火)、7日(水)	千種小学校教諭社会体験研修	1名
8月6日(火)、7日(水)	朝上小学校教諭社会体験研修	1名

③社会見学・施設見学

受け入れ日	摘 要
7月26日(金)	新規採用教職員研修会施設見学
10月4日(金)	竹永小学校3年生社会見学
10月24日(木)	朝上小学校3年生社会見学

④小中学校図書室巡回

学校図書室	巡回	学校図書室	巡回
菰野町立菰野小学校	20回	菰野町立菰野中学校	16回
菰野町立鶺川原小学校	20回	菰野町立八風中学校	15回
菰野町立竹永小学校	21回		
菰野町立朝上小学校	20回	小学校 計	100回
菰野町立千種小学校	19回	中学校 計	31回

⑤ブックトーク訪問

実施日	対象学年	学校名
7月4日(木)		菰野町立千種小学校
7月9日(火)		菰野町立菰野小学校

7月11日(木)	小学校3年生	菺野町立朝上小学校
7月16日(火)		菺野町立鶴川原小学校
7月17日(水)		菺野町立竹永小学校
10月3日(木)	小学校1年生	菺野町立菺野小学校
11月14日(木)		菺野町立朝上小学校
11月27日(水)		菺野町立千種小学校
11月28日(木)		菺野町立鶴川原小学校
12月6日(金)		菺野町立竹永小学校

⑥学校授業支援

支援日	対象学年	学校名
4月18日(木)	小学校1年生	菺野町立鶴川原小学校
4月24日(水)		菺野町立菺野小学校
4月25日(木)		菺野町立竹永小学校
4月26日(金)		菺野町立朝上小学校
6月4日(火)		菺野町立千種小学校
6月2日(金)	小学校2年生	菺野町立朝上小学校
1月24日(金)	小学校5年生	菺野町立朝上小学校

⑦放課後子ども教室支援

地区	支援日
千種地区	10月16日(水)
鶴川原地区	1月29日(水)、2月5日(水)

【評価と今後の方向】

図書資料の収集に努めてきた結果、蔵書冊数は16万7千冊となり、図書開架室の入館者数は開館12年間で延べ370万人を数えた。図書開架室に生涯学習室や催事室等を加えた館全体の年間入館者数は40万人である。

令和元年度で従来の年との大きな違いは新型コロナウイルスの対応のため約3週間の休館があった点で、貸出冊数他いくつかの数字で前年度より増加傾向であったものが最終的には減少で終わった。また休館、休館延長、開館それぞれ世情に合わせた急な決定であり、周知に難があった。

「第二次菺野町図書館整備基本計画」に基づき図書館職員の増員強化が進み、図書館司書は8人を擁し、学校図書館巡回支援や図書館開館日の見直し等の展開を行っている。

図書館司書が学校図書館を巡回することで担当教諭や地域の図書ボランティアとの連携として『こもりぶサポーター』の協力を得ている。今後も図書室の環境整備や児童生徒の読書関心を高めるブックトークなど読書支援を継続する。

小学生の『子ども司書』に加え中学生の『リトルライブラリアン』を新たに組織し、大人が読ませたい本ではなく自分たちが友達に教えたい本の観点からの対応を図る。

開館日の見直しは平成 28 年度から、祝日と重なる月曜休館日の開館と金曜日に限るものの閉館時間の午後 7 時を実施している。前者は平日の平均入館者を上回り、受け入れられたが、後者においては午後 6 時以降の来館者はほとんどおらず、6 時に利用されていた方の退館時間が遅くなるだけの場合が多く、利用者のニーズに対応しているとは言い難い。入館状況はデータ化し、図書館運営協議会の意見を聞きながらよりよい図書館運営につなげることとする。

また、北部子育て支援センター窓口での図書貸出申し込みや返却本の受け取りは図書館遠隔地における図書館サービスとして継続して行い、利用につなげる。

引き続き図書資料の充実に努めるとともに、生涯学習拠点機能を活かした利用しやすい施設の運営に努める。

(7) 健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進

①スポーツ活動の機会と教室、大会などの充実

元気アップこものスポーツクラブが行うスポーツ教室開催事業に対して助成を行い、17 種目の子どもを対象としたスポーツ普及、育成教室（23 教室）を実施し、スポーツ活動の機会の提供や競技力の向上を図るとともに、町体育協会が行うスポーツ大会開催事業に対して助成を行い、競技種目の振興を図った。

また、地域・学校・観光・商工・体育等の様々な分野が連携・協力した全国発信のスポーツイベントとして、町民をはじめ県内外から 4,300 人のランナーが参加した第 14 回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンを、町内の希薄化傾向にある「親子間」「世代間」「地域間」等のあらゆる交流の機会を提供することを目的に開催し、開催運営経費の助成を行い、健康増進と合わせて町内のボランティアによる協働作業により町の活性化、地域の連帯を深め、菰野町民の結束力向上を図るとともに、県内外へ菰野町の情報発信をすることができた。（会場入場者 10,000 人、大会協力スタッフ 1,127 人）

さらに、障がい者スポーツの体験会などを開催し、障がい者の生きがいづくり、社会参加を促すとともに、障がい者スポーツの理解を深めてもらう機会を創出しました。

そして、三重とこわか国体に向けての普及、啓発活動を図った。

②スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援

スポーツ推進委員を通じて、いつでも手軽にできるニュースポーツの普及を促進し、町全域への運動意識の向上を図った。

青少年の競技種目の振興を図るため、スポーツ少年団の育成充実を図るとともに、特定非営利活動法人菰野町スポーツ・文化振興会を通じ、各種団体間ネットワーク事業を企画・実施し、スポーツの発展に努めた。

③スポーツ施設の整備、充実

令和元年度における主な施設整備としては、体育館では、高圧電気設備工事やグラウンドでは、テニスコート改修のための設計や朝明野球場へのフェンス設置等の修繕を行った。災害時の収容避難所としての機能確保を図るとともに、スポーツ施設利用者の利便性向上と、安心して快適にスポーツに親しむことができるように努めた。

町営の体育館やグラウンドについては、年月の経過により老朽化しているため、順次改修や修繕を実施し、安全に使用してもらえるように努めている。

【評価と今後の方向】

元気アップこものスポーツクラブ事業や鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンなどを通

じて、多くの住民がスポーツに親しみ、スポーツに対する意識を高めることができた。

また、芸術文化、スポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画実施し、地域社会づくりに寄与することを目的として設立された、特定非営利活動法人菰野町スポーツ・文化振興会の事業を、住民自らが参画し協働して実施することによって、発展させることができた。

各団体による各種事業への自主的運営が進んできている中で、障がい者スポーツへの理解を深めていき、今後も、町民一人ひとりがスポーツへの意識を高め、健康管理しつつ楽しくスポーツができる環境整備に努めるとともに、スポーツに対する受益者負担意識を進め、負担する対価に見合った環境整備と施設の充実を図り、生涯スポーツの実現を目指してさまざまな事業を展開していきたい。

(8) 豊かな文化の継承と創造

①芸術文化活動への支援と交流の促進

菰野町における芸術文化とスポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画して実施し、地域社会づくりに寄与することを目的としたNPO法人「菰野町スポーツ・文化振興会」が、体育協会事務局及び芸術文化協会事務局を担当し、活動支援を行っている。

東海村との民間促進事業については、東海村役場で両自治体のスポーツ推進委員及び体育協会との情報交換などの交流を図った。一方で、三条市の手づくりしかけ絵本コンクール事務局と菰野町絵本のまちづくり文化プロジェクト実行委員会との交流を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用

国指定天然記念物である田光のシデコブシ及び湿地植物群落を良好な状態で保存継承していくため、保存管理計画をもとに、生態系の調査や雑草の刈取りを実施し、観察会を開催するとともに、西側部分の民有地の用地買収を行った。

事業名	期日	場所	人数
国指定天然記念物 田光シデコブシ群落観察会	4月6日	田光シデコブシ群落	25

③郷土愛の育成

郷土の文化財等を理解し親しみを深めてもらえるよう、図書館2階郷土資料コーナーにて、年2回の展示替えを行い、庁舎1階にもミニコーナーを設けて郷土の歴史について展示をした。また、郷土史に対する問い合わせについては、図書館郷土資料コーナー等において対応した。

【評価と今後の方向】

生涯学習の振興を図るため、文化振興事業をはじめ、さまざまな事業に取り組んでいる。また、よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジにおいては、自主サークルによる運営委託や協力により、自主的な事業運営に取り組んでもらっている。

青少年育成対策については、青少年育成町民会議を主体として、それぞれの関係団体が青少年の健全育成と非行防止のための取り組みを強化し、町ぐるみで青少年育成活動に取り組んでいる。今後も町民がそれぞれの分野において、自主的、自発的に関わりをもつような事業が増加するよう取り組みを進めていく。

IV 評価委員会の意見

1 教育委員会の運営

- ・教育委員の構成について、現在は菰野町の5地区（菰野・千種・朝上・鶴川原・竹永）から各一人の構成になっていない。菰野地区から2人選出されている。これは教育長の交代によるものであるが、地区の情報等にも精通できる面からも、各地区から教育委員が一人ずつ選出されているのが理想である。
- ・教職員の人事について、昨年の事務事業点検で教職員のレベルアップが図れるような人事を期待している旨の意見を述べた。教職員のレベルアップに資するため、バランスを大事にした人事をお願いしたい。
- ・幼保園、小学校、中学校で連携を図ることは大切であるが、園と学校だけでなく行政とも連携をとることが必要である。園や学校現場だけでは解決できないところも多いので、教育委員会だけでなく子ども家庭課との連携も必要である。学校現場の生の声を行政側が聞くことも大切である。

2 学校教育事務事業

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校現場では臨時休校に始まり、様々な対応を余儀なくされているところだが、まだまだ感染拡大が心配な状況なため、できる限り感染予防対策をお願いしたい。
- ・読書活動の推進を図るために、学校において家庭での読書の啓発に努めているが、漠然と啓発するだけでなく、子どもたちの実際の読書量を把握しながら啓発することも必要である。子どもたちがよく読んでいる分野、興味のある分野を押さえておくことも大切なのではないか。学力の向上に必ずしも読書量が比例するわけではないが、本を読むことを定着させることは大事である。読書をすることで語彙力が向上し、それが学力の向上にも繋がる。
- ・道徳教育の推進のため、道徳が教科として完全実施されたことを受け、評価を行う必要がある。道徳の評価は非常に難しいが、点数ではないその子の良さを適切に評価する必要がある。統一された観点を持って評価を行うため、教師が情報収集していくことが大切である。
- ・ふれあい教室に通級していた児童生徒が、学校へ通学できるようになった事例があるが、どのようにして教室へ復帰することができたのか、その教育実践内容を記録しておくことが大切である。それが今後の不登校児童生徒への対応の手がかりとなり得る。また、それにあわせて教室へ復帰した児童生徒を受け入れることのできる学級づくりが、人権教育にも繋がるので、しっかりと取り組んでいただきたい。
- ・いじめや暴力を許さない子どもたちの育成には、まず保護者との信頼関係を築くことが第一と考える。同じ内容でも信頼関係ができていない関係ならば、「相談」となるが、信頼関係ができていなければ、「クレーム」となる。いじめの早期発見、早期対応のために、しっかりと取り組んでいただきたい。各学校のそれぞれの取り組みを教育委員会が把握し、必要であればそれを他の学校へ伝えていくことも大切である。
- ・子どもたちの支援のための人的な配置が、大変きめ細かにされていると感じる。今後子どもたちのために、きめ細かな人的配置を継続するようお願いしたい。
- ・国際理解教育の推進のために、小学校でも英語科が令和2年度に導入される。ALTの増員など英語科の指導力の強化が必要になってくると考える。今後も優秀なALTの確保などへの尽力に期待する。
- ・日本に暮らしている外国籍の方は、母国語、英語、日本語と何種類もの言語を簡単に

話している。今後は日本ももっとグローバル化が進むと思われるので、より一層国際理解教育を充実させる必要がある。

- ・「全国学力・学習状況調査」や「みえスタディ・チェック」など、確かな学力の向上のために学力テストに取り組むことは大変よいことだが、その採点などにより教育現場の負担が増えている。業者に委託した採点結果及び分析結果が戻ってくる前に、より早く弱点をとらえ手だてを考えるための手段として、教師が採点を行うということであるが、学力テストの採点のように、業者等にまかせることのできる業務はできるだけ委託し、児童生徒への対応や保護者対応など、教師にしかできない業務へ時間を使えるようにすべきである。多忙を極める教育現場の負担を軽減するために、できる限りのサポートを望む。
- ・菰野町には外部講師（ゲストティーチャー）としてお願いできる素晴らしい人材が各地域にたくさんいる。そういう方々を積極的に活用し、郷土教育の推進に努めてもらいたい。
- ・今後、小学校でも教科担任制の取り組みが始まってくると思われる。それに向けて教育委員会としての方向性をはっきり示し、今からでも、できる範囲で準備を進める必要があると思う。

3 社会教育事務事業

- ・毎年様々なテーマでよもやま歴史教室を開催している。様々なテーマで講座を開催するのもよいが、テーマをもっと絞って開催すると、深い内容の講座となるので、少し変えてみるのもよいのではないか。
- ・青少年活動支援推進事業、生涯学習支援事業、人権教育事業など多岐にわたって、様々な教室や講座を開催しているが、開催後にアンケートをとるなどし、参加者の意見を聞くことで、よりよい講座や教室となるように努めていただきたい。
- ・美し国駅伝では、素晴らしい成績を収めていただいた。選手や関係者の努力の賜物である。駅伝を通しての世代間の交流などもできており、大変よいことである。このような繋がりを、駅伝だけでなく様々な分野に広げていくことが大切である。
- ・元気アップ教室では様々な教室があるが、特に子どもたちを対象にした教室では、その種目の技術を教えるだけでなくあいさつを交わすことの大切さなど、日本人として大切な部分も指導していくべきだと常々感じている。技術面だけではないところも指導できる指導者の育成を期待したい。
- ・元気アップ教室やその他の教室や講座などでの、新型コロナウイルスへの感染防止対策はこれからもまだまだ必要と思われるため、教育委員会の指導のもと、しっかりと徹底して行っていく必要がある。

4 図書館事業

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止については、十分な対策が必要だが、新型コロナウイルスへの対策に重点をおくだけでなく、高齢者の方などが利用しやすいように、配慮を十分してほしい。
- ・午後6時以降の来館者はほとんどいないということだが、開館時間の見直しも含めサービスの低下とならないように、よりよい図書館運営に努めていただきたい。